

事務事業名	基本健康診査実施事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	老人保健法
政策名	05	安心して暮らせる保健・医療環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課
施策名	12	生涯を通じた健康づくり	課長名	江口 久子	担当者名
基本事業名	31111	健康づくりの充実	予算科目	会計 款 項 目 事業	健康診査事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 61 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 35歳以上の町民を対象に、すこやか健診・ミニドック・脳ドック(69歳まで)の基本健診を実施。がん・脳卒中・糖尿病等の生活習慣病の早期予防・早期発見・早期治療が行なえ生活習慣を振り返る機会とする。【すこやか健診】昭和61年より実施。公立芽室病院に委託。週3日実施。広報・新聞折込等で周知。個人負担金は一般8,500円、老人4,000円。希望者は別料金で子宮・乳・前立腺がん検診受診できる。【ミニドック】平成11年度より実施。帯広厚生病院に委託。年4日実施。広報・新聞折込等で周知。保健福祉センターを会場に健診実施。個人負担金は一般3,500円、老人1,700円。希望者は別料金で骨粗しょう症・前立腺がん検診受診できる。【脳ドック】平成9年度より実施。帯広市内3病院に委託。来所のみでの受付とし、申込者と各病院で日程調整する(4月~2月)。町は各病院からの請求に応じて委託料を支払う。個人負担金10,000円。事後指導は病院の医師以外に町の事務職員、保健師・栄養士が参加。	全体計画 (単位:千円)
	特定財源
	一般財源
	その他
	事業費計(A)
正規職員従事人数	
人件費計(B)	
人件費	
人件費計(B)	
イータルコスト(A)+(B)	

1 現状把握の部 (DO)																																	
(1) 事務事業の目的と効果																																	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細) 16年度実績 広報・新聞折込等で町民に周知。申込受付後個人案内・健診セット送付。システム入力し、事後指導準備。精密検査者の結果管理、事後指導、受診者アンケートを行なう。 17年度計画 脳ドック委託契約病院に帯広厚生病院追加。受診者アンケートは実施なし。 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 35歳以上の町民(脳ドックのみ69歳までの年齢制限あり) 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) がん・脳卒中・糖尿病等の生活習慣病の早期予防・早期発見・早期治療が行なえ生活習慣を振り返ることができる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 生活習慣病の発症・悪化を予防し、脳卒中等の重篤な疾病を発症することを未然に防ぐ。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 健診日数(すこやか・ミニドック)</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ 事後指導日数(すこやか・ミニドック)</td><td>日</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 受診人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 受診率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ 事後指導対象率</td><td>%</td></tr> </table> 成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 有所見者の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 生活習慣改善率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ がん発見数</td><td>人</td></tr> </table> 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 生活習慣病罹患率</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 脳卒中発症数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ がん発見数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア 健診日数(すこやか・ミニドック)	日	イ 事後指導日数(すこやか・ミニドック)	日	ウ		名称	単位	ア 受診人数	人	イ 受診率	%	ウ 事後指導対象率	%	名称	単位	ア 有所見者の割合	%	イ 生活習慣改善率	%	ウ がん発見数	人	名称	単位	ア 生活習慣病罹患率	%	イ 脳卒中発症数	人	ウ がん発見数	人
名称	単位																																
ア 健診日数(すこやか・ミニドック)	日																																
イ 事後指導日数(すこやか・ミニドック)	日																																
ウ																																	
名称	単位																																
ア 受診人数	人																																
イ 受診率	%																																
ウ 事後指導対象率	%																																
名称	単位																																
ア 有所見者の割合	%																																
イ 生活習慣改善率	%																																
ウ がん発見数	人																																
名称	単位																																
ア 生活習慣病罹患率	%																																
イ 脳卒中発症数	人																																
ウ がん発見数	人																																

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)	
投入量	事業費	千円	9,083	7,001	5,790	6,678			
	特定財源	千円							
	一般財源	千円	34,696	30,894	34,277	27,599			
	その他	千円							
	事業費計(A)	千円	43,779	37,895	40,067	34,277	0	0	0
	人件費	人	4	4	4	4			
正規職員従事人数	年間			0.3452					
人件費計(B)	千円	0	0	3,188	0	0	0	0	
イータルコスト(A)+(B)	千円	43,779	37,895	43,255	34,277	0	0	0	
活動指標	ア 日			101					
	イ 日	43	39	35					
	ウ								
対象指標	ア 人	1,499	1,345	1,298					
	イ %	31	30.3	28.9					
	ウ %			65.6					
成果指標	ア %								
	イ %								
	ウ 人	1	5	6					
上位成果指標	ア %								
	イ 人								
	ウ 人								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 老人保健法に基づき、住民が受診しやすい体制整備を行なう必要があるため。(昭和45年から成人病検診は実施)	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 職域での健診や医療機関が実施している健診を利用する等、健診機会の選択肢が増加。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 受診者からは検査技術(胃カメラが苦痛)や結果送付(予定より遅れる)について、改善の要望が数件挙げられている。受診数が年々減少傾向(すこやか健診)のため、受診増となるための改善が求められている。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	住民が自己の健康状態を把握するためには、身近な場所で受診できる健診が必要である。		
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	健診のみでなく、その後の事後指導等、実施できる機関がない。		
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	生活習慣病は長年の生活習慣が大きく影響しており、発症も若年化していたため、現在の対象は妥当である。		
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	受診者を増加させることにより、成果は向上するがなかなか難しい。		
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] ↷ [問題解決策] 3 改革・改善方向の部へ	住民の健診受診率の減少が考えられ、疾病の予防や早期発見・早期治療が困難となる。そのため、脳卒中等の重篤な疾病が発生し、医療費が増加する。また、死亡や病氣罹患が与える社会的影響も大きい。		
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ↷ [理由]		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↷ [具体的に] <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ [全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由]	病気の早期発見・早期治療のために貢献している。		
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] ↷ [問題解決策] 3 改革・改善方向の部へ	健診のみでなく、その後の事後指導等、実施できる機関がないため難しい。		
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げるにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	ミニドックにおいて健診実施に必要なスタッフを委託機関で賄うことができれば人件費は削減できる可能性がある。(委託料増額の可能性もある)		
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	住民の利用しやすさを考慮すると受益者負担は妥当と考える。		

3 改革・改善方向の部(PLAN)																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持				低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
低下		×	×																				
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ 健診事後指導体制・内容の充実																							